



まちのシンボル「ひと・まち・ゆめ」

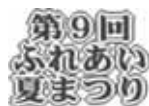
わが町 志津南 NEWS

志津南ホームページ
http://waka-kusa.net/

発行
志津南地区自治連合会
連絡先
志津南市民センター
(公民館) 563-6206

成功裡に終わった夏まつり

奇跡的天候が計画、体制生かす



志津南ふれあひれ夏まつり
の総括記事と
いうことで
したが、こ
で第9回夏まつりの何が良くて、
何が悪かったかという内容は省
かせていただき、感じたことを
お伝えしたいと思います。
梅雨明け宣言も発表されな
い状況の中でとうとう夏まつり
の日がやってきたか、という気持
ちでした。機材を搬入した前日
21日の空模様は私たちの気持
ちを重くするものでした。

今思うと、7月22日当日の
お天気は奇跡だったと思え
ません。みなさんもそうではな
いでしょうか。
ところで、夏まつりを成功さ
せるためには三つの要素が重要
であることを痛感しました。
(手っ取り早く言えば成功の秘
訣のようなものです)

第一は、いかような祭りに仕
上げるか、実行委員長が全体を
構想することからスタートしま
すが、その出来具合で祭りがど
うにもなってしまうというこ



にぎわった夏まつり

とです。次に祭りを実際に運営
するためのしつかりした組織体
とこれを助ける強力な参謀(経
験者の助け)がなくては無理だ
ということでした。最後に、絶対

土ひねりやこんにやくづくり

「南っ子」たちが貴重な体験

志津南地区地域協働校は8
月11日、12日の2日間、甲賀市
信楽町で「南っ子宿泊体験」事
業を実施、児童16人が陶器づく
りやたぬきづくりなどを楽しむ
とともに、地元の子どもたちと
交流を深めました。(3面に關
連記事)

初日の11日は、志津南市民セ
ンターで開講式を済ませ、信楽

に晴れる日に祭りを設定するこ
と(これはちよいと難しいが、
晴れることだけで祭りは何とか
成功に導けるものです)。
これらの要素を確保するのに
現行のやり方で不足しているこ
ろを今期及び来期の関係者の
方々にじっくり検討して頂きた
いと思っております(祭り予算
額が少ないことも含めて)。
祭りはやはり派手で、盛大で
面白くなくちゃ祭りじゃない。
派手・盛大・面白い・この三冠
を打ち立てた祭りを来年の実行
委員長に委ねて、今年の夏を終
えようと思えます。
みなさま、本当にありがとうございました。
(実行委員長 古田則昭)

へ。同町公民館で現地開講式を
行ったあと、館内の見学、多羅
尾でのこんにやくづくり、流し
そつめんの昼食をばさんで、夜
は綿菓子づくり、狸のお話を
聞いて過ごしました。
二日目は午前中、陶芸の森で
開催中の陶芸家たちの作品展の
鑑賞や同館を見学しました。ま
た「世界で一つの宝物づくり」

一人語りで人権学ぶ



一人語りする世直歩さん

朱賀(あやのり) 社中の世直歩
(よなおしあゆむ)さんが、一
人語り「しまひき鬼」を演じま
した。
周囲の照明を消してスポット
ライトだけという怪しい雰囲気
が漂う会場で、浮かび上がる高
座から世直歩さんが、鬼が島を曳
いていつては人間と遊ぼうと交
渉する様子をリアルに、表現力
豊かな表情で語りかけました。
一人語りのあと、高座から下
りた世直歩さんが、話の内容を引
きながら人権について講演、会
場の約60人の参加者は大いに
笑い、また納得しつつ人権の大
切さを学びました。

志津南地区同和教育推進協議
会・志津南市民センター(公民
館)共催の人権講演会が8月
26日、同センターで開かれま
した。町内学習懇談会推進者研
修第3講座、公民館自主教室の
研修として行われたもので、

と、陶器づくりに挑戦。土と口
ク口が悪戦苦闘しながらも、そ
れぞれ自分の作品をひねり上げ
ました。午後には「MY狸」づ
くりにも挑戦しました。

今回は、初めての地域外での
宿泊体験。この2日間は子ども
たちにとって貴重な体験となり
ましたが、引率のみなさんや受
け入れ先の信楽公民館、陶芸の
森の関係者のご協力のお陰で無
事終えることができました。紙
上を借りてお礼申し上げます。

町内学習懇談会の日程

各町内の人権学習懇談会は次
の日程で志津南市民センターで
開催されます。多数ご参加くだ
さい。

- 10月7日(土) 19時~21時
若草5丁目、若草6丁目
- 10月8日(日) 19時~21時
若草7丁目、若草8丁目
- 10月15日(日) 19時~21時
若草3丁目、若草4丁目
- 10月28日(土) 19時~21時
若草1丁目、若草2丁目、
岡本町西

地域社会を考える懇談会

来月22日市まじえ社協が開催

志津南地区社会福祉協議会は10月22日、市社会福祉推進課・市社協の協力を得て「地域福祉

の推進」について考える懇談会を志津南市民センター（公民館）で開催します。

懇談会では、昨年策定された草津市地域福祉計画を説明するとともに、高齢者・障害者ら自立支援を必要とする人たちが地域の一員として普通に暮らせる町づくりについて話し合うことになっています。

社会、経済の変化に伴い福祉に対するニーズが多様化、課題も多岐にわたってきたことに対応するため、平成12年に社会福祉事業法が「社会福祉法」に

市社協で開催された地域福祉講座



児童の安全確保に協力を

志津南地区社会福祉協議会ボランティア部会では2年前から志津南小児童の登下校時、横断歩道での誘導や防犯活動として町内の安全パトロールを行っています。

特に学区再編に伴い通学路となったスター前交差点は交通量も多く重点箇所として誘導に当たっています。同交差点は今年3月から歩車分離信号となりましたが、いまだに歩行者信号が青になると同時に発進しようとする直進



集団下校する児童たち

車があり危険で気が抜けません。

児童の登校時はスター前、小学校近く、市民センター近くの3カ所の横断

歩道で毎日、ボランティアグループと小学校の先生、保護者ら15人程度が分担して誘導にあたっており、これまで無事故を守っています。しかし、集団下校時以外の曜日はほとんど児童のみで下校しており、交通事故や犯罪防止に万全とはいえません。児童の安全を守るには、児童自身を危険から少しでも遠ざかる知恵と力を身につけることが大切ですが、なによりも危険を予測し、未然に防ぐことが重要です。

それには児童の下校時や帰宅後、休（社協安全パトロールグループ 須田）までお申し出下さい。

日時：10月19日（木）26日（木）19時～21時 30分
内容：ちらし・ポスター作成
対象：ワード中級程度の方
費用：受講料600円とテキスト代（価格未定）
締切：9月30日（土）
定員：10名（多数の場合）は抽選）
なお「年賀状づくり講座」を11月29日（水）に予定しています。詳細は次号で。

改められ、その中に住民主体・参加の「地域福祉の推進」が掲げられました。その狙いは、みんなで助け合い、福祉サービスを必要とする人が、地域の一員として普通に生活し、活動できる地域社会を築くことにあります。当地域においても、少子・高齢化の進展、家庭機能の変化、障害者の自立と社会参加の進展などにより多様な対応が必要となってきています。地域福祉の推進には、自分で出来ることは自分でする「自助」地域住民同士が助け合う「共助」 地域環境の改善など行政が行う「公助」が組みあうことが必要です。懇談会では、志津南地域の今



三世代が顔をそろえラジオ体操

後の地域福祉推進について、どのようなことが必要で、どのように推進していけばいいのか、などについて話し合い、考え合い「福祉のまちづくり」に役立

ラジオ体操、参加者増える

小学校夏休み朝の三世代合同ラジオ体操が前期（7月24日～8月4日）と後期（8月21日～25日）それぞれ、地域の各公園で行われました。参加者は前年に比べ参加者が大幅に増え、毎回60人から70人が夏の朝、体をほぐしました。とくに幼児の参加が目立ち、周りの人たちをなごませました。また、朝の交通整理をしている

てたいと考えています。一人でも多くの住民の方に参加して頂き、ともに地域福祉について考える場にしたいと思えます。

若寿会のメンバーたちとも、朝の「おはよう」を交わして体操に出かける場面もあり、一層の親しみを感じました。実施にあたりご支援ご協力を頂いた志津南PTAや子ども会、若寿会の皆さん方ありがとうございました。

IT講座

志津南市民センター（公民館）のIT講座「ちらし・ポスターをつくらう！」の受講生を次の通り募集します。今回は夜の開催となります。ふだんなかなか参加できなかった方、ぜひご参加ください。

（老ク連・若寿会）

地域協働合校宿泊体験

「こんにやく芋に びっくり」

こんにやく作りの名人から作り方を説明してもらいました。原料となるこんにやく芋を見て子どもたちは、その姿かたち



つぶした芋を恐々混ぜる

びっくり。すりつぶした芋の中に手を入れ、こわこわ混ぜる。水でといた石灰を入れ、さらに混ぜていく。仕上げは名人の技を見て感心することしきり。成型後にあくを取るため熱湯に入れ、出来上がったこんにやくを田楽にして美味しく頂きました。



流しそうめんおいしいな

その間に昼食。全長20mの流しそうめんである。食べる場所を確保し、流れてくるそつめんを手際よく食べる。一本一本食べる子、容器にたぶり入れている中でルールも生まれ、おいしくいただきました。

「難しかった 「ろくろ」」

県立陶芸の森では、まず陶芸館を見学。ここでは信楽を訪れた世界41カ国の陶芸家の作品約80点を展示していました。いろいろな作品を目にして世界の人々の土への思いを学びました。



ロクろに悪戦苦闘

このあと、登り窯の見学とろくろを体験しました。指導員の手本を見たときは簡単そうに見えるが、回転するろくろの上で茶碗や湯飲みを作ることは大変難しいことでした。

子ども達は悪戦苦闘しながらも、それぞれ2点ずつ作品を作りました。後日、窯上げされま

きぬ井戸のごとく、次々飛び出すアイデアに感心しながら粘土がいつの間にかたぬきの

形になる工程に見入っていました。なるほど、そうかと感心しきり。

その後、子どもたちは黙々とたぬきづくりに取り組みました。イメージを膨らませ、アイデアを取り込みながら素晴らしい作品に仕上げていきました。

その柔軟さ、集中力には正直脱帽しました。子どもたちの豊かな感性と能力を改めて認識するいい機会となりました。

スポーツまつり10月1日

第2回志津南地区スポーツまつり(体育振興会主催)が10月1日、会場を初めて若草中央公園に移し開かれます。競技は、混合綱引きや借り物競争、三人四脚、グラウンドゴルフなど11種目で、現在、出場者を募集しています。一般競技以外にも、幼児が参加できる競技や大声コンテスト、ゲームなどを予定しています。多数の参加をお待ちしています。

懐メロに青春重ねる

重ね合わせながら懐かしのメロディを楽しみました。

歌う会は、村井教夫さん(湖南キターアンサンブル)のギターに合わせた発声練習からスタート。村井さんから曲の流行時の説明を聞くと、「懐かしい」「はやっとなあ」といった声も聞かれ、音楽の授業のような風景も見受けられました。

歌ったのは「湖畔の宿」「恋の季節」など10曲。参加者は歌の時代と青春を重ねあわせ、郷愁に浸るかのよう唱和していました。

「過ぎ去った時代を懐かしみ、楽しめる」と毎回出席する人も多く、お年寄りらの心やすらぐ交流の場になっているようです。

(龍大学生取材班)

狸の世界に 興味津々



狸の秘訣に耳を傾ける

綿菓子づくりも楽しんだあと、大平信楽公民館長からお話し会「たぬきの世界を知ろう！」を聞きました。

大平館長は「信楽狸学会」の代表者を務め、狸に関するさまざまな詳しい方です。

大平さんは「信楽になぜ狸の焼き物があるのか、信楽の狸の置いてある場所、狸の種類や狸が一体いくつあるか」などを映像資料を使いながら、狸の秘密を解き明かしました。また、世界の狸の話なども紹

介、狸ワールドを楽しく解説していただきました。子どもたちは、フロアマトットの会議室で仲良く寝そべってリラックスした様子で、初めて聞く話に驚きながら熱心に耳を傾けていました。

MYたぬき



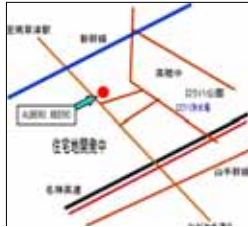
MY狸 うまく出来たかな

新聞紙を粘土で包みながら手際よくたぬきを造り出す指導員さん。子どもたちをその気にさせる話術。汲めども尽

すが出来映えが楽しみです。イベントでは土で作った楽器による演奏を聴きました。

こよみ

- 9月15日(金) 高穂中学校体育祭
- 9月16日(土) 志津南小学校 南っ子わくわく運動会 健康ウォーキング(若寿会) 8:15中央公園
- 9月18日(月) 敬老会(地区社協) 11:00(10:30受付) 志津南市民センター
- 9月20日(水) 古今東西「富田人形」 9:00~16:00 志津南市民センター
- 9月21日(木) 離乳食レストラン(健康) 9:00~15:00 志津南市民センター
- 9月23日(土) 社会奉仕(若寿会) 8:45 中央公園集合
- 9月24日(日) 第1回すこやかセミナー(青少年育成区民会議) 「みんなで食育、楽しく食育」 13:30~15:00 志津南市民センター
- 9月26日(火) 地域サロン「懐メロを歌う会」 10:00~11:30 志津南市民センター
- 10月1日(日) 志津南スポーツまつり 時間 10:00~15:00 場所 若草中央公園
- 10月6日(金) 定例健康相談 9:30~10:30 志津南市民センター
- 10月7日(土) 健康ウォーキング(若寿会) 8:15中央公園 紳士淑女の井戸端会議 9:00~16:00 「醒井豆腐作り」
- 10月10日(火) 地域サロン「懐メロを歌う会」 10:00~11:30 志津南市民センター
- 10月12日(木) 廃食油の回収 10:00~12:00 志津南市民センター
- 10月13日(金) ファミサボキャラバン 隊親子広場 10:00~12:00 志津南市民センター



豊富な品数、独自の味

イタリア料理

ALBERO BELLO



若草かいわい お店拜見

追分町のかげやき通りに面して今年5月にオープンした。木造平屋建ての店内はスペースを

有効に活用しており、ゆったりとした感じを与える。テーブル、カウンター、座敷で約50席。アルペロベッコと読む店の名はトルツリ(とんがり屋根)の町並みが世界遺産に指定されたイタリア南部の町の名。

ほかにシェフ4人とソムリエを加えたスタッフは30人を数える。白川さんのこだわりは食材と味付け。イタリアでの経験から現地の味直輸入では日本人の舌に合わない、と煮込みに独自の味付けをほどこした。

コースも。値段の張るものを敬遠して単品を組み合わせるのも楽しい。一品は魚料理6種類、肉料理7種類、イタリアの家庭料理5種類、炭火焼11種類から選べる。値段は六百五十円から二千円とリーズナブル。ワイン類も40銘柄をそろえており、ソムリエが好みや料理に合ったワインを選んでくれる。

2年半、イタリアで修行した白川貴成さん(34)が店長兼料理長として店を切り回す。

新鮮な野菜と魚は京都の市場で調達し、料理は自家製のジャム(イタリアではソースの代わりに使う)で味をととのえる。ピザはナラ、ブナを新材とする窯焼きという本格派。

「品数を豊富にすることで選択の幅を広げリピーターを増やしたい」。白川さんはこう締めくくった。

昼はデザート付きのランチが人気。5種類のパスタ、3種類のピザ、2種類のリゾットから一つ選ぶ。これに前菜、デザート、コーヒーか紅茶がついて千六百元(税別)。前菜の代わりにサラダ、デザートなしなら千二百円(同)。

ディナーはメニューがぐんと増える。おまかせコース(四千五百円)のほか六千円、一万円

定休 第3木曜日
駐車 40台

場所 草津市追分町822
電話 (565) 0548

営業
午前11時~午後2時30分
土日祝は午後3時まで
夜午後5時~午前0時
コース料理は前日まで予約のこと

みんなの広場

そろそろお酒のおいしい季節です。最近焼酎ブームと言われていますが、ビールも根強い人気を保っています。私も昨秋まではビール党だったのですが、おいしい日

お酒のはなし

本酒に出会う
本酒に出会う
本酒に出会う
本酒に出会う

は物足りないかもしれません。10月下旬頃から搾りたての日本酒が出回ります。京都の伏見には多くの酒蔵がありますが、石部にも酒蔵が数力所あって、2月11日には「香の泉」の竹内酒造で「蔵まつり」が催されます。酒蔵の見学と搾りたてのお酒の試飲が楽しめますのでぜひ行ってみて下さい。

「おいしい日本酒」というのは搾りたての日本酒です。この中には、実はシャンパンのように微発泡しているものがあるのです。口の中で弾けるプチプチ感がこたえられません。搾りたての試飲には甘口が多く、女性や下戸には好まれますが、酒豪

生酒はワイン以上に温度に敏感です。酒蔵まで行けない人はお酒の維持管理の行き届いた日本酒専用冷蔵コーナーのあるお店でご購入の上、ぜひ試してみてください。(若草5丁目K)

若草佳木

若草ソフトボールクラブでは50歳から60歳代の方でソフト

ボールに興味を持ち、とにかく体を動かす、汗をかき、スポーツを楽しみたい方、そんな仲間を募っています。

年間を通して、交流試合や草津市の公式戦に参加、草津市Aクラス維持と全国大会出場を目標に頑張っています。

ご希望の方は若草1丁目の降矢(電話562 5275)までご連絡下さい。お待ちしております。